

TOPICS

産婦人科

出産から老齢まで、女性の一生に向き合って

婦人科では現在医師 5 名、非常勤医師 2 名の体制で診療を行っています。(左から渡邊愛医師、福岡正晃部長、田村祐子医師、加藤淑子顧問、清水美代副部長)。周産期診療に関しましては産婦人科・小児科・病棟スタッフを含めた合同カンファレンスを定期的に行っており、チーム医療が必要な症例の検討を行っており、2022 年開業の新病院での周産期医療の充実を図ります。

産婦人科は女性特有の疾患に取り組んでいます。女性ホルモンによる様々な状態、月経に関する問題、不妊症や妊娠・出産に関する問題、子宮・卵巣・卵管での良性悪性腫瘍、感染症、さらには更年期における諸症状、老年期における骨盤臓器脱の問題などです。これら疾患に対して、内科的・外科的(手術的)対応を行っています。



今回は、以下に周産期診療における4D 胎児超音波(エコー)、婦人科腹腔鏡手術、骨盤臓器脱に関して紹介します。

4D 胎児超音波(エコー)



2016 年より4D 胎児エコー外来を行っています。これまでの超音波は胎児を 2 次元的にとらえたものです。そのため、固定された画像ではその断面しか表現することができませんでしたが、現在では 3 次元的に表現することが可能です。4D とは 3 次元での表現に時間軸を追加

したもので、リアルタイムに3次元画像を動画で表現する方法です。羊水という液体の中に胎児が浮いた状態ですとその表面をとらえて外表を 3 次元的に表示できます。様々な疾患の検出能力の向上にも役立っていますが、胎児の顔面観察も可能で喜んでもらっています。実際、赤ちゃんは胎児期でもさまざまな表情をみせてくれます。口をモグモグさせたり、しかめっ面をしたり、笑ったりしています。出産後の赤ちゃんと比べてみてください。普段の妊婦健診において、毎回超音波検査で胎児の状態をチェックしていますが、妊娠 20 以降の方を対象に妊婦健診を兼ねた 4D 胎児エコー外来を行っています。料金は通常の妊婦健診内で行っており、追加の費用は発生しません。20 週前後以降の方を対象に火曜日の午前と木曜日の午後 2 時~ 4 時で対応しています。



社会福祉法人

恩賜
財団

濟生会京都府病院

〒617-0814 長岡京市今里南平尾 8 番地

地域医療支援室

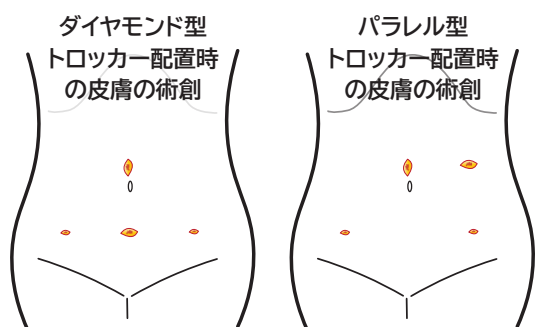
TEL 075-956-3825
FAX 075-956-3826

受付時間(原則): 平日 8:45 ~ 19:30 (木曜日は 17:00 まで)



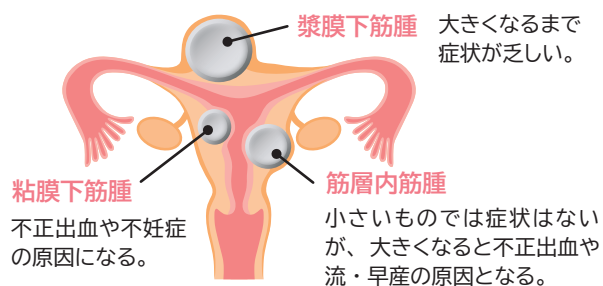
腹腔鏡手術

臍上に 10mm の縦切開で開腹しトロッカーを設置、カメラを挿入し炭酸ガスを注入して観察します。また下腹部に操作鉗子用の 5mm のトロッカーを 3 か所設置します。腹腔鏡手術のメリットは腹腔内をカメラで拡大して見るため観察に優れ細かい操作も可能、創が小さいため痛みが少なく術後が楽であり美容的、という点があります。以前は大きな子宮筋腫の手術には開腹が必要でしたが、最近では 1 つの創を約 3 ~ 5cm 延長することで腹腔鏡補助下に手術できることも多くなっています。

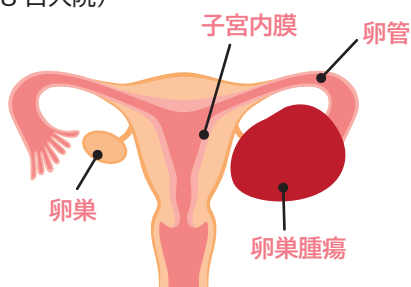


主な手術と適応疾患

子宮筋腫(子宮に発生する平滑筋由来の良性腫瘍。症状(過多月経や月経困難症、圧迫症状など)や筋腫の大きさの程度で手術を行うことがある。月経がある年齢では徐々に増大、閉経後は徐々に縮小することが多い): 腹腔鏡下子宮全摘術、腹腔鏡下子宮筋腫核出術(7~9日入院)



卵巣腫瘍(大きくなければ症状がないことが多い。根元がねじれる茎捻転や破裂の可能性、悪性でないか病理検査の必要があるため約 5cm 以上で手術が勧められている): 腹腔鏡下卵巣嚢腫核出術、腹腔鏡下卵巣卵管切除術(6~8日入院)



骨盤臓器脱

症状 子宮、膀胱、直腸が腔から下垂して出てくる病気です。入浴時や立ち仕事の時に腔からピンポン球のようなものが出る、膀胱が下がると頻尿、排尿困難、尿漏れ、直腸が下がると便が出にくい

原因 骨盤臓器を支える骨盤底筋が出産で傷つき、肥満、便秘、強い咳などが負担になり、加齢とともに骨盤臓器が腔から降りてくるのが原因です。

治療 程度が軽いと骨盤底筋を鍛える体操で効果があります。手術したくない、合併症で手術できない場合などは pessary というリング状の器具を腔内に入れる方法がありますが、定期的な通院による洗浄が必要です。なお pessary を入れても抜ける、違和感があり合わないというタイプの患者さんもおられます。根本的な治療は手術になります。メッシュを用いた手術は再発が少ない(約 1 割)ため行われることが多いですが、合併症(メッシュの腔壁への露出など)もあるため患者さんと相談して術式を決めています。

主な手術

腹腔鏡下仙骨腔固定術(LSC) 6~8日入院

メッシュで膀胱、直腸、子宮頸部(子宮体部は切除)を支える、腹腔鏡による術式です。

経腔的メッシュ挿入術(TVM) 7~9日入院

腔からメッシュを挿入し、膀胱、直腸、子宮(温存または全摘)を支える術式です。

腔式子宮全摘+腔壁形成術 7~9日入院

子宮が主に出ている人やメッシュを使いにくい合併症(糖尿病や免疫性疾患)のある方に行います。

腔閉鎖術 6~8日入院

術後性行為はできませんが体への負担が軽い手術です。大きな骨盤臓器脱や高齢者の方に行います。



正常

骨盤臓器脱

腹腔鏡下仙骨腔固定術

子宮筋腫、卵巣腫瘍は月経困難症の他、軽い症状で受診の時や癌検診などで偶然見つかることが多いです。患者様には気軽に検診目的で当科を受診していただくと嬉しいです。また、骨盤臓器脱はなかなか相談できない疾患であり、開業医の先生方から患者様をご紹介いただくことが多く、感謝しています。これからも研鑽を積んで地域医療に貢献できますよう努力したいと思いますので、済生会京都府病院産婦人科をよろしくお願いいたします。